

二〇二五年度、(公社) 南長野青年会議所の理事長の重責をお預かりするにあたり、私はスローガンとして「未来を創る 変革の一歩」を掲げました。急速に変化する社会情勢の中で、地域の未来をより良いものへと導くためには、私たち自身が小さな一歩であっても、確かな“変革”を積み重ねていくことが必要だと強く感じたためです。本年度を締めくくるにあたり、この理念に共感し、ともに歩んでくださったすべての皆様に、心より感謝申し上げます。

本年度も人口減少や担い手不足、地域コミュニティの希薄化など、多くの課題が南長野地域を取り巻いていました。特に会員数の減少は深刻で、年度当初から組織運営の根幹に関わる課題として立ちはだかりました。しかし、だからこそこの問題に正面から向き合うことこそが「変革の一歩」であると捉え、本年も LOM 全体で拡大活動に力を注いでまいりました。「未来へ繋ぐ総務拡大委員会」が創意工夫を凝らして開催した長期間に及ぶ拡大例会では、経験の浅いメンバーに対し、拡大の重要性を伝えることができました。同委員会では資質向上系の例会も担当し、マナー講習やマインドフルネスに着目した例会も実施しました。全員が同じ方向を向き、一体感がこれまで以上に高まったことは、本年度最大の収穫であったと感じております。

青少年育成事業では「わんぱく相撲長野場所」を開催しました。本年は県大会も南長野で開催され、多くの児童が成長の機会を得られた素晴らしい大会となりました。未来を担う子どもたちの姿は地域の希望であり、彼らのために汗を流すことができたことは、私たちにとって何よりの喜びでした。担当した「笑顔咲く学び委員会」では、ドローンに着目したプログラミングを学ぶ例会も開催し、参加した子どもたちは、未来の選択肢の一助となる貴重な体験をすることができました。

地域開発事業として、「街コン×スポーツ」という形で「次世代を創る交流委員会」が企画を進めてまいりました。しかしながら開催することが叶わず、開催できなかつたという経験を、次年度以降にしっかりと繋いでいくことが必要であると考えます。関係諸団体の皆様には大変ご迷惑をお掛けいたしましたが、これも必要な経験であると捉え、メンバー各位のさらなる成長に期待しております。

国際交流では、姉妹 JC である JCI KOREA 西大邱とのオンライン交流を行いました。四〇年以上続く友情は、世界情勢が不安定な中であっても、互いを尊重し、未来への架け橋となる関係性です。これからも変わらぬ思いで、絆を紡いでまいりたいと考えています。

二〇二五年度は多くの課題に直面する一年でした。しかし、その一つひとつに対し、私たちは「未来を創る変革の一歩」を踏み出すという覚悟を持って挑み続けました。この一年で積み重ねた努力と経験は、必ずや次年度以降の南長野青年会議所の大きな力となると信じています。

最後になりますが、本年度の活動を支えてくださった関係諸団体の皆様、先輩諸兄姉の皆様、そしてこの一年をともに走り抜けてくれたメンバーの皆様に、心より御礼申し上げ

ます。二〇二六年度も、私たちが踏み出した小さな一歩が、地域の未来を照らす大きな光となるよう、変わらぬご支援・ご指導をお願い申し上げ、二〇二五年度の御礼とさせていただきます。

一年間、誠にありがとうございました。